

令和7年3月27日

県土整備部道路課

春休みの東京スカイツリータウン®で奥入瀬体験を！ －「移動型の奥入瀬ミニ博物館」東京初開催－

現在工事中である「奥入瀬（青樺山(あおぶなやま)）バイパス」の完成後、国道102号奥入瀬溪流区間では通年での車両交通規制を予定しています。これにより、奥入瀬溪流は車から人中心の空間へと変わり、静かな環境の中で貴重な動植物を鑑賞できる「奥入瀬自然博物館」として生まれ変わります。

今回のイベントは、当該地域への来訪者が多い首都圏の方々をターゲットに、奥入瀬溪流の魅力や「奥入瀬自然博物館」の実現に向けた活動内容をより多くの方々に知ってもらうことを目的として、多くの観光客等で賑わう春休み期間中の東京スカイツリータウンにて3月29日（土）の1日限定で開催するものです。「移動型の奥入瀬ミニ博物館」というキャッチフレーズで開催する今回のイベントは、奥入瀬の苔観察体験や映像鑑賞など、奥入瀬溪流の四季を東京にいながらにして体感することができる貴重な機会となっています。

東京初開催となる今回のイベントを通じて、より多くの方々に奥入瀬溪流の魅力や取組を認識していただけるよう、周知・報道にご協力をお願いいたします。

記

- 日時 令和7年3月29日（土）10:00～17:00
- 場所 東京スカイツリータウン イーストヤード東1階エントランススペース
東京都墨田区押上1-1-2（会場案内図は別紙参照）
- 内容 別紙のとおり

※当日は、「奥入瀬十和田利活用協議会¹⁾」の部会員であるNPO法人奥入瀬自然観光資源研究会の丹羽裕之 理事長が報道対応いたします。

報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部道路課
担当者	整備推進G 能登谷 武範
電話番号	直通：017-734-9651 内線：6712
報道監	県土整備部次長 米田 均

- 1) 奥入瀬十和田利活用協議会とは、「奥入瀬ビジョン²⁾」の実現に向けた議論を深化・加速させるため、令和5年9月に産学官一体で設立した組織。会長は青森県知事で、NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会（理事長：丹羽裕之氏）は環境部会の部会員として参画している。

- 2) 自然環境の保護と利活用との共存を目指す奥入瀬・十和田湖地域の将来ビジョンとして、平成30年6月に奥入瀬溪流利活用検討委員会（委員長：筑波大学 石田東生 名誉教授）から青森県知事・十和田市長に対して提言されたもの。詳細は以下、参照。

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/doro/files/oirase_vision.pdf



苔に囲まれた「映えショット」を撮影できるスポット



撮影



私だけの
苔shot!!

スポット周りには、苔リウムも展示



苔に囲まれた写真が撮影できるコーナーを設置。撮影した写真をSNS発信いただくことにより、奥入瀬溪流のPRを促進します。

「顕微鏡で覗いてみよう！」 コーナー



奥入瀬溪流館にある資料をお借りし、苔をはじめ奥入瀬に関するものを顕微鏡で覗いてみる事ができる体験コーナーです。

映像鑑賞コーナー



モニターを設置し、奥入瀬に関連する動画を放映します。

アンケート 抽選コーナー



奥入瀬に関するアンケートを実施。抽選で奥入瀬の書籍等が当たる抽選会を実施します。

奥入瀬溪流移動博物館／ブースイメージ



奥入瀬溪流移動博物館／顕微鏡で覗いてみよう！」コーナー



奥入瀬溪流移動博物館

東京都内会場

■東京スカイツリータウン®
イーストヤード
東1階エントランススペース
〒131-0045 東京都墨田区
押上1丁目1-2

■スペース面積：約12m²

■実施時期
3月29（土）

